

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業におけるその他の材料を起因物とする死傷災害発生事例

(2017年)

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	8~9	1階浴室の型枠組みのための床墨出しを行い、作業終了後立ち上がろうとした際、突然立て掛けてあったボードが倒れ、下敷きとなった。その後周辺の作業員に救出され病院にて受診する。	58	~ 49
2	9~10	店舗内にて、間仕切壁を解体中に、ケイカル板とタイルを剥がそうとバールでこじたところ、塊となって左足に落ちてきた。	62	—
4	9~10	当工事構内にてコンクリート製基礎ブロック72個（25cm×25cm×25cmの空洞ブロック）をトラック荷台から台車に積み替える等の作業中、腰痛が出始めた。	27	10 ~ 29
4	10~11	被災者はALC（H=2.5m、W=60cm、D=10cm、約80kg）3枚の建込作業を一人で行っていた。2枚の建込、本固定が終了し最後の1枚を立てしゃがんで微調整を行っていた際、ALCが傾き、支えきれず被災者の上に倒れ下敷きとなった。	67	1 ~ 9
6	14~15	当社敷地内において、コンクリート管（直径90cm、厚さ10cm、長さ約2m）をエンジンカッターを使用して輪切り状に切断後、転がして移動させようとした際、切断部分に右小指を挟んでしまい負傷した。なお、当作業は、植木鉢として使用するために、コンクリート管の加工を顧客から依頼されたものであった。	28	1 ~ 9
7	13~14	選果場の現場で壁パネル貼り作業中、屋根から壁パネルを作業員が手渡しで降ろす作業をしている。屋根上の作業員が足場上の被災者へ渡す時に作業員の手が滑り、被災者はうまく受け取れず負傷した。	25	10 ~ 29
	10~	被災者が3階廊下のサッシの養生材を剥がそうとし、仮置きで立てかけてあった硝子		1

9	11	に手をかけめくった後に、1100mm×2400mmの硝子（1枚約60kg）が9枚（合計約540kg）倒れ右足が挟まれ負傷した。	50	～
11	17～ 18	作業所前に積んであった外壁材を移動させようと持った時に、小雨が降って濡れていたため手が滑って外壁材が落下して、右足の親指に当たってしまった。	27	1 ～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)